平成30年度　県立神戸工業高等学校　学校評価シート（１月）　集計表

			人数					平均		H30年(前期)の平均		H29年(後期)の平均
			A	B	C	D	計					
1	○学校評議員制度を活用した学校運営の推進（教頭） ○教職員の実践的指導力、資質の向上を図る ○中学校（生）や地域社会への情報提供	学校評議員会を開き、学校への要望や評価についての意見を聞く。また、その内容について、教職員への周知徹底を図る。	12	29	4	3	48	3.04	−0.14	3.18	−0.22	3.26
2		本校の課題に即した効果的な研修の計画運営に努める。また、教職員が計画的に校外、校内での研修を受ける体制を整える。	19	22	5	2	48	3.21	0.19	3.02	0.10	3.11
3		中学校訪問やオープン・ハイスクールでは、中学校に対する情報提供を積極的に行う。	35	11	2	0	48	3.69	0.79	2.90	0.07	3.62
4	○家庭・地域・関係機関と連携した危機管理体制の推進及びマニュアルの策定 ○学校行事の精選と行事内容の充実	本校の警備および防災計画を基本にして、効果的な防災訓練の実施や災害時の業務内容を周知徹底する。	21	24	3	0	48	3.38	0.02	3.35	0.02	3.36
5		避難訓練は、各種災害を想定したものとなっている。	27	18	2	1	48	3.48	0.03	3.45	−0.01	3.49
6		保護者､医療機関、消防署、警察等との密接な連携を図る。	15	30	2	1	48	3.23	−0.11	3.34	0.12	3.11
7		学校行事を充実させ、円滑に行う。	23	21	4	0	48	3.40	0.10	3.30	0.14	3.26
8	○教職員の実践的指導力の向上 ○体験的・問題解決的な学習の展開 ○生徒の基礎学力の把握と向上 ○評価方法の創意工夫	教科や学科において研修報告会を実施し、指導力向上に努める。	14	27	6	1	48	3.13	0.02	3.11	0.13	3.00
9		教科指導において、体験的・問題解決的な学習を取り入れる。	16	29	2	1	48	3.25	−0.01	3.26	0.10	3.15
10		生徒の学習意欲・態度などを考慮した評価基準を設定する。	19	27	2	0	48	3.35	0.05	3.30	0.14	3.21
11		公開授業、研究授業を実施する。	27	16	2	2	47	3.45	−	−	0.09	3.36
12	○生徒の学習意欲を引き出す授業の展開	分かりやすい授業を展開し、学習意欲を喚起する。	20	28	0	0	48	3.42	0.04	3.38	0.14	3.28
13		基礎学力の向上に努める。	15	31	2	0	48	3.27	−0.07	3.34	−0.01	3.28
14		生徒の興味・関心を引き出す教材開発に努める。	22	25	1	0	48	3.44	0.08	3.36	0.16	3.28
15	○きめ細かな生徒指導体制の確立 ○規範意識の定着 ○生徒の内面の理解を図る指導の工夫 ○生徒会活動の活性化	生徒の状況を把握し、生徒指導方針の周知徹底を図り、校門当番や下校指導など職員の協力体制を確立する。	27	20	0	1	48	3.52	−0.08	3.60	0.37	3.15
16		学校生活におけるマナーの定着に努める。	20	26	2	0	48	3.38	0.04	3.34	0.08	3.30
17		生徒の実態に応じて、生徒指導規程の見直しを図る。	15	30	3	0	48	3.25	−0.03	3.28	0.08	3.17
18		生徒の内面の理解について、定期的に各部署と情報交換を行う。	16	28	3	1	48	3.23	−0.11	3.34	0.10	3.13
19		学校いじめ防止基本方針を配布物やホームページで生徒・保護者に周知徹底させる。	16	28	2	2	48	3.21	0.08	3.13	−0.07	3.28
20		いじめ対応チームを中心に、いじめの情報収集と教職員間の共通理解を図り、的確な指導を行う。	21	23	2	2	48	3.31	0.02	3.29	−0.01	3.32
21		部活動を活性化し、入部率を高めて生徒の学校活動の場を増やす。	8	30	9	1	48	2.94	0.09	2.85	0.20	2.74
22		文化祭、球技大会、福祉施設訪問、ボランティア活動などの行事を活性化させる。	23	21	4	0	48	3.40	0.11	3.29	0.10	3.30
23	○進路指導体制の充実 ○職業観・勤労観の育成と進路意識の向上 ○進学率・就職率の向上	進路指導おいて、科・学年との協働体制の充実を図る。	19	25	3	1	48	3.29	−0.07	3.36	−0.18	3.47
24		進路通信を定期的に発行し、きめ細かな指導を行う。	8	18	13	9	48	2.52	−0.08	2.60	0.01	2.51
25		有償インターンシップを活用し、在校生の就業意識を高める。	11	21	12	4	48	2.81	−0.34	3.15	0.30	2.51
26		進路に関する情報を、掲示板の活用などにより生徒にわかりやすく提供する。	12	23	8	5	48	2.88	−0.30	3.17	−0.37	3.24
27		科・学年と連携しながら進学率、就職率の向上を図る。	20	22	6	0	48	3.29	−0.07	3.36	−0.19	3.48
28		キャリア教育の観点から、各学年と協力して１年生より勤労意識の向上を図る。	13	19	16	0	48	2.94	−0.08	3.02	−0.10	3.04
29	○健康管理の徹底 ○健康な心身の育成 ○教育相談の充実	健康診断の円滑な実施を行う。事前の健康調査と事後措置の徹底を図る。	23	23	2	0	48	3.44	−0.08	3.52	−0.02	3.46
30		保健室だよりを定期的に発行し、保健指導の充実を図る。	30	16	2	0	48	3.58	−0.09	3.67	−0.12	3.70
31		キャンパスカウンセラーとの連携を密に行い、生徒や保護者の要望に適切な対応をとる。	23	22	0	2	47	3.40	0.00	3.40	−0.14	3.54
32		効果的な職員研修会や事例検討会を実施し、支援体制を強化する。	20	26	0	1	47	3.38	−0.04	3.42	−0.11	3.49
33	○図書室・言語教育環境整備の充実 ○視聴覚設備の充実 ○校務のICT化 ○情報教育の推進 ○家庭・地域への情報発信	図書環境を整備し、読書活動を推進する。	14	15	13	6	48	2.77	0.07	2.70	−0.10	2.87
34		視聴覚機器の整備、貸し出しを推進する。	16	26	3	2	47	3.19	0.08	3.11	0.15	3.04
35		教職員のＩＣＴ機器活用を充実させる。	17	26	4	1	48	3.23	0.08	3.15	0.16	3.07
36		情報発信に伴う情報モラルの育成を図る。	10	31	7	0	48	3.06	−0.05	3.11	0.02	3.04
37		個人情報に対する意識の向上を図る。	15	26	6	1	48	3.15	−0.17	3.32	0.00	3.15
38		ホームページ上に、最新の情報を掲載し、広く情報発信する。	24	19	3	1	47	3.40	−0.17	3.57	−0.14	3.54
39	○組織作りと健全育成	学年・学級の具体的経営方針を立て、達成に努める。	13	30	5	0	48	3.17	−0.15	3.32	−0.12	3.29
40		学年会を利用して生徒・教職員・保護者の情報の共有に努める。	21	22	4	0	47	3.36	−0.02	3.38	−0.11	3.47
41		生徒面談や三者懇談を積極的に行い、生徒の内面理解に努める。	26	19	1	0	46	3.54	−0.01	3.55	0.10	3.44
42	○工業高校としての社会的使命	創意に満ちたふるさと貢献活動事業を展開する。	13	31	4	0	48	3.19	−0.02	3.21	−0.05	3.24
43		ものづくりに重点を置き、産業教育フェアなどに積極的に参加する。	26	17	3	2	48	3.40	−0.17	3.57	−0.20	3.60
44		工業教育の趣旨を理解させ、資格取得に励ませる。	26	18	3	1	48	3.44	−0.05	3.49	−0.14	3.58